

事業所職員向け 2023年度 児童発達支援自己評価表（ルブレいなぎ児童発達支援事業所）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	職員の意見	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	0%	20%	・仕方がないが全員利用の時は狭い。 ・少し狭い。 ・活動内容によっては狭い（個別の部屋）	法令を遵守したスペースを確保している。 お子さんの発達段階・特性によってグループ分けや環境設定をしている。	活動内容によっては狭いと感じることがあるため、2グループに分けた活動では保育室と個室を有効に使えるように職員間で連携を図ります。 お子さんが安心して主体的に遊ぶ空間をつくれるように工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	・産休者がいるが皆でフォローしている。	法令で必要とされる配置数に加え、専門職を2名以上配置している。 現在産休者がいるが職員間で業務分担してフォローしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	0%	10%	・身体に障害のある方には向いていない。 ・利用児に合わせて柔軟に環境を変更している。	利用児に合わせて柔軟に環境を変更している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	0%	10%	・綺麗に保たれている。	空気清浄機を設定し、感染リスクが下がるようにしている。 クラスごとにその都度子どもに合った環境を考えて行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%		月に1回程度支援会議を実施し職員で話し合う機会を設けている。 職員面談では業務課題について聞き取りを行い、その都度改善している。 事務所で作業が快適になるよう事務所のレイアウトを変更した。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・保護者向けアンケートを実施している。	保護者の意向や要望等を確認し、業務や支援の改善を行っている。会議の場で改善案を話し合っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%		毎年2月に評価表の結果をホームページに掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	80%	0%	20%	・保護者向けアンケートを実施している。	第三者による外部評価は実施していないが、スーパーバイズやオンブズマンに来ていただく機会がある。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・研修をたくさん受けている。 ・研修やアンケートで情報の共有がされている。	事業所内研修と法人全体研修を行っている。 職員アンケートで情報の共有をしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		発達項目（対人意識、対物認知、生活習慣、感覚、粗大運動、微細運動）ごとにアセスメントを行った後に児童発達支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	90%	0%	10%		フォーマル検査（新版K式発達検査、WISC-IV、＜S＞S法＞言語発達遅滞検査）を実施している。 独自のアセスメント表を使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%		保護者の方に支援の意向を確認した上で「発達支援」を主軸とした支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%		支援計画会議を行い、スタッフ間で共有を図っている。 支援計画を確認しながら日々支援を行うようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	0%	40%	・振り返りを反映している。 ・立案は個人だがその後はチームで話し合っている。	日々の振り返りでチームから上がった意見をもとに担当者で立案している。 新任職員が担当するクラスはプログラムの立案をチームで検討する機会を設けている。 方法や提示の仕方などは職員間で話し合っている。	その日の利用状況によって提供する活動が異なるため、主に担当者が立案しています。職員間で振り返りを丁寧にし、クラスのわらわらのお子さんのニーズを把握して次の活動につなげられるようにしていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・利用児の興味に合ったプログラムを取り入れている。	必要に応じて同じ活動を繰り返すことはあるが、利用児の発達段階に合わせて毎回活動プログラムを立案している。 利用児の興味に合わせたプログラムを取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		それぞれの子どもの発達段階に応じた支援を行いつつ、集団での関わり合いも大切にしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	0%	10%	・毎日打ち合わせと振り返りをしている。 ・確認不足で見切り発車の日がある。	朝礼で一日の支援やスケジュールを共有している。	日によっては十分に確認できていないことがあったため、前回の振り返り内容を朝礼で確認できるように記録や共有の工夫を図ります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	0%	20%	・毎日打ち合わせと振り返りをしている。 ・日によっては十分に出来ないときがある。	利用児との関わりを朝礼で共有している。 次の支援に活かせるように記録に残している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	0%	20%	・毎日日誌に記入している。	クラス毎に話し合った内容を記録にとるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		支援計画更新時にモニタリング会議を実施している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%		セルフプランが多いため、対象児は1名。対象児のサービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%		自立支援協議会こども部会(年3回)では、稲城市内の放デイ、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が集まり、稲城市の課題について話し合っている。保健センターの職員が事業の見学に来られ、支援の共有を行った。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%		移行前または移行後に幼稚園や保育園との話し合いの機会を設けている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%		移行前または移行後に小学校との話し合いの機会を設けている。 就学支援シートの活用をすすめ、学校に引き継いでいる。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	89%	0%	11%		子ども部会では、それぞれの事業所の課題について話し合いをしている。 必要に応じて他事業所との連絡を図り、連携をしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12%	0%	88%	・保育園や幼稚園へ通っているお子さんが多い。	ほとんどの子どもが保育園や幼稚園と併用して当事業所に通っている。	
	29	《自立支援》協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	78%	0%	22%		自立支援協議会・子ども部会に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		家庭での利用児の様子や状況を確認し、寄り添った会話を心がけている。 毎日の連絡係や送迎の際に保護者と情報交換や共有を行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	75%	0%	25%	・2才児クラスでは保護者同士交流やペアプロ等で支援している。 ・勉強会等を行っている。	保護者勉強会等を開催し、家族の支援を行っている。 2歳児親子クラスではテーマを決めて関わり方について話す機会を数回設けた。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		契約時に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		送迎時や随時電話、連絡ツール等で随時保護者の相談・援助を行っている。 希望する方や必要時に面談を実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%		保護者会や主観イベントの家族参加の機会を提供し、保護者同士の交流や連携を支援している。 保護者交流会を年2回実施した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		随時、迅速に対応し、必要な体制を整備するよう努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%		2023年度から連絡ツール「コードモン」で活動の様子を毎日10枚ほどアップしている。 ルフレだよりを月1回発行し、行事予定やクラス毎に実施した活動内容・成長等を記載している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	90%	0%	10%		個別ファイルやパソコンは鍵のついた所定の場所にしまっている。 連絡ツールコードモンによる送信値が9回あったため、送信前にダブルチェックを必ず行うようにした。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		文字、イラスト、写真等で分かりやすく伝える様々な情報伝達に努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	0%	67%		地域の自治会に加入している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%		各マニュアルを会議で周知している。嘔吐時の対応について会議で確認している。 緊急時マニュアルを作成し、保護者に配布している。	会議で非常時の発生を想定した訓練を実施します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%		今年度は避難訓練を月に1回程度実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか	90%	0%	10%		登録票に服薬やてんかん発作等のこどもの状況を記入していただき、確認している。	てんかんや熱性けいれんなどによる発薬が必要なお子さんがいる場合には年度初めや利用開始時に職員間で確認します。

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	86%	0%	14%	登録票にアレルギーに関するこどもの状況を記入していただき、確認している。現在、食物アレルギーのある子どもはいない。	アレルギーのあるお子さんが利用する場合には年度初めや利用開始時に職員間で確認します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	事例集を作成し、4月上旬に会議で話し合いを行った。毎日のヒヤリハットを職員間で終礼で共有している。月毎にインシデントアクシデントを累計し職員間で周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	毎年、年2回は法人全体の集合研修を実施し、その中で虐待防止研修も行った。また児童分野研修も年2回実施した。法人内には専門職部会があり、専門職の支援の質が向上するよう事例検討を1回実施した。事業所では1月に虐待防止研修を実施した。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	86%	0%	14%	・身体抑制についての記載は自分が立てた計画には記載していない（対象児に当たらない）	対象児はいないが、どういった場合が身体拘束にあたいするのか虐待防止研修で話合った。